

昭和31年度活動報告

近畿六大学春季リーグ戦

◇4月16日西宮市民球場

神外大	0	1	1	0	0	0	0	1	0	3
甲南大	0	2	1	0	1	0	0	0	×	4
(神外大)	30	5	0							
	打	安	失							
(甲南大)	35	11	2							

▽本塁打橋本(甲)▽三塁打榑谷・藤谷(外)
 バッテリー
 (甲)榑原・辻本一佐久間
 (外)林一吉岡

◇4月18日西宮市民球場

甲南大	2	0	0	0	4	0	0	0	0	6
神外大	0	0	0	0	0	0	0	1	1	
(甲南大)	33	6	0							
	打	安	失							
(神外大)	34	10	5							

▽二塁打木村(甲)・藤田2(外)
 バッテリー
 (甲)中川一佐久間
 (外)林・早崎一吉岡

◇4月19日西宮市民球場

大経大	1	0	0	0	1	0	0	0	0	2
甲南大	2	0	0	0	0	0	0	1	×	3
(大経大)	41	6	3							
	打	安	失							
(甲南大)	46	12	3							

▽二塁打橋本(正)(甲)
 バッテリー
 (甲)辻本一佐久間
 (経)竹下一坂部

◇4月24日西宮市民球場

甲南大	2	0	2	0	0	2	2	0	0	8
大経大	0	2	0	0	0	0	0	3	0	5
(甲南大)	39	14	1							
	打	安	失							
(大経大)	46	12	3							

▽本塁打坂部(経)▽三塁打近江(甲)
 バッテリー
 (甲)辻本・中川一佐久間
 (経)高岡・安国・大末一坂部

◇4月27日西宮市民球場

甲南大	0	0	0	0	0	4	0	0	0	4
和 大	0	0	0	0	0	0	1	0	1	
(甲南大)	28	3	2							
	打	安	失							
(和歌山大)	32	4	2							

▽二塁打中川(甲)・田中(和)
 バッテリー
 (甲)榑原・中川一坂部
 (和)田中・高橋一木津・清家

◇4月30日西宮市民球場

近 大	0	0	0	0	0	0	3	3		
甲南大	0	0	0	0	0	2	2	×	4	
(近畿大)	28	1	5							
	打	安	失							
(甲南大)	30	4	3							

▽二塁打橋本(甲)
 バッテリー
 (甲)辻本一佐久間
 (近)中尾・塩崎・三隅一近藤

◇5月4日西宮市民球場

甲南大	2	0	3	0	2	2	0	0	0	9
神商大	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
(甲南大)	36	10	2							
	打	安	失							
(神商大)	27	3	2							

▽二塁打達富(甲)桑野(商)
 バッテリー
 (甲)榑原・佐々木・川森一佐久間
 (商)荒木・佐々木一吉川・脇谷

◇5月7日西宮市民球場

神商大	0	0	0	1	0	0	0	0	1	
甲南大	0	0	0	1	1	1	0	5	×	8
(神商大)	32	4	3							
	打	安	失							
(甲南大)	28	5	2							

▽二塁打荒木(商)・佐久間(甲)
 バッテリー
 (甲)中川・辻本一佐久間
 (商)荒木一吉川・脇谷

◇5月9日西宮市民球場

和 大	0	0	1	0	0	0	0	0	1	
甲南大	1	0	3	0	0	0	0	3	×	7
(和 大)	30	7	1							
	打	安	失							
(甲南大)	35	9	0							

▽本塁打高橋・磯海(和)・梶木(甲)
 バッテリー
 (甲)榑原・中川一坂部
 (和)高橋一福井

◇5月10日西宮市民球場

甲南大	0	0	0	1	0	1	0	0	4	0	0	0	6
近 大	1	0	0	2	2	0	0	0	1	0	0	0	6
(甲南大)	50	13	0										
	打	安	失										
(近畿大)	46	13	0										

▽二塁打達富・橋本(甲)・野口2・下泉(近)
 バッテリー
 (甲)辻本・中川・榑原一佐久間
 (近)三隅・塩崎一近藤
 ※延長12回引き分け

春季リーグ戦成績表

	甲	近	経	和	外	商	勝
甲	●	1△	2	2	2	2	9
近	0△	●	2	2	2	2	8
経	0	0	●	1	2	2	5
和	0	0	1	●	1	2	4
外	0	0	0	1	●	2	3
商	0	0	0	0	0	●	0
負	0△	1△	5	6	7	10	

打撃十傑

(打数27以上)

	試	打	安	率
1. 三隅 建(近)	10	36	18	0.500
2. 吉岡正博(近)	10	33	14	0.424
3. 林 照雄(外)	9	28	11	0.392
4. 福井達夫(和)	10	39	14	0.358
5. 久次悦治(経)	10	32	11	0.343
6. 山田成夫(外)	10	37	12	0.324
7. 浜田顯広(近)	10	33	10	0.303
8. 吉岡清久(外)	10	37	11	0.297
9. 木村明夫(商)	10	31	9	0.290
10. 木村 栄	10	35	10	0.285

〔個人成績〕

- 最高殊勲選手 中川純一 (甲南大学)
- 最優秀投手 辻本光重 (甲南大学)
- 敢斗賞 高橋信一 (和歌山大学)
- 首位打者 三隅 健 (近畿大学)
- 本塁打賞 藤原 寛 (大阪経済大学)

第八回全日本大会

◇8月9日八王子富士森球場

甲南大	0	1	0	2	1	1	0	1	1	7
横浜国立大 学	0	0	0	0	1	0	0	2	0	3

▽三塁打佐久間・上田(清)・中川(甲)
 バッテリー
 (甲)榑原・上田(清)・達富(甲)・鈴木(孝)(横)・桑原(甲)

〔横浜大〕	打	安	点	失	〔甲南大〕	打	安	点	失
⑥ 佐藤	5	0	1	1	⑨ 梶木	4	2	0	0
⑤ 和田	5	0	0	0	⑤ 木村	4	0	1	2
⑦ 松島	4	1	1	0	⑥ 橋本	4	1	0	1
③ 鈴木	3	0	0	0	④ 中川	6	2	0	0
② 鈴木(孝)	3	0	0	0	⑦ 達富	5	5	1	0
④ 今井	3	1	0	0	③ 桑原	3	2	2	0
① 淵沢	1	0	1	1	② 佐久間	3	1	0	0
⑧ 栗田	3	0	0	0	④ 近江	0	0	1	0
⑨ 宝珠山	0	0	0	0	④ 夕田	2	0	0	0
1 鈴木孝	3	2	1	0	⑧ 川森	2	0	0	0
計	30	4	4	2	⑧ 上田清	1	0	0	0
					① 辻本	1	0	0	0
					PH 高	0	0	0	0
					① 榑	2	2	1	0
					計	37	15	6	3

横浜大に快勝

戦評

甲南大学は二回先制攻撃に成功早くもリードを奪った。この回安打に出た達富に次ぎ桑原が四球を選んだあと、バンドで二、三塁とした。次打者近江は投手右にスクイズバンドで1点をあげ、以後調子に乗った甲南大は毎回安打の十五長短打を漏沢、鈴木孝両投手にあげせ圧勝した。一方の横浜は投打とも全く精彩を欠き、わずかに五回今井の遊撃内野安打と鈴木孝の左翼線二塁打、八回には二敵失と一安打で2点を返しからくもシャットアウトを逸れた。

◇8月11日八王子富士森球場

甲南大	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
東北学院	0	0	2	1	0	1	0	0	×	4

〔東北学院〕	打	安	点	失	〔甲南大〕	打	安	点	失
② 三島	2	0	1	0	⑦ 梶木	5	0	0	0
⑦ 伊藤(雄)	3	0	1	0	④ 木村	4	0	0	1
⑧ 佐々木	3	0	0	0	⑥ 橋本	4	1	0	1
⑥ 伊藤(光)	4	1	0	0	⑤ 中川	4	1	0	1
④ 伊藤(剛)	4	0	0	0	⑨ 達富	3	0	0	0
③ 峯岸	4	2	1	1	③ 桑原	2	0	0	1
⑤ 森田	4	3	1	0	② 佐久間	1	0	0	0
⑤ 菅野	4	0	0	0	② 上田(清)	4	1	0	0
① 高橋	2	1	0	0	⑧ 辻本	2	1	0	1
1 阿部	1	0	0	0	④ 夕田	1	0	0	0
計	31	7	4	1	PH 榑	1	0	0	0
					計	31	4	0	5

戦評

東北の雄東北学院と近畿六大学春季リーグ戦優勝の甲南大学との一戦はかなりの好ゲームが予想され事実一、二回は決定打不足もあって無得点の均衡を保ったが三回表、甲南が三塁までランナーを送るも無為に終わった。その裏、東北はすかさず反撃を開始し、二死一、二塁に好打者伊藤光が右翼へ流し野手もたつく間に三塁打として二者を還した。更に四回裏甲南投手交替時の不調を利用して二安打後投手をあやまらせ一点追加、六回一死後一安打と二つの連続エラーでだめおしの一点を加え六回より代った阿部の好投もあいまってそのまま東北が甲南を屠った。甲南各野手はゴロに対する処理悪く五つのエラーを重ねて機敏な東北にすかさず乗せられ自滅した観がある。熊岡監督の下よくまとまった東北学院の勝利は順当のものと言えよう。

第二回近畿地区体育大会

輝く優勝

◇9月5日神大御影球場(一回戦)

大府大	0	0	0	0	0	0	0	0
甲南大	4	3	1	0	0	2	×	10

バッテリー
(甲)辻本・西村・榊原一佐久間
(府)越知・吉本・中戸一向井
※7回コールドゲーム

◇9月6日神戸銀行球場(二回戦)

甲南大	0	1	1	0	0	0	0	0	1	3
大学大	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1

バッテリー
(甲)辻本・榊原一佐久間
(学)山崎一南

◇9月7日神戸市民球場(準決勝)

神医大	0	1	2	0	0	0	0	0	0	3
甲南大	0	6	0	0	1	0	0	0	×	7

バッテリー
(甲)西村・榊原一谷口・佐久間
(医)荒木・岡本一光辻

◇9月7日神戸市民球場(決勝戦)

甲南大	0	1	2	0	0	0	0	0	1	4
和歌山大	0	2	0	0	1	0	0	0	0	3

バッテリー
(甲)辻本一佐久間
(和)高橋一清家

近畿六大学秋季リーグ戦

◇10月15日西宮市民球場

甲南大	1	0	0	4	0	1	0	0	9	15
神商大	0	0	2	0	0	0	0	0	1	3

(甲南大) 35 14 1
打安失
(神商大) 33 7 5
▽二塁打木村・桑原・辻本(甲)・田附・荒木②(商)
バッテリー
(甲)辻本一辻井・佐久間
(商)佐々木・野次・山本一吉川・脇谷

◇10月16日西宮市民球場

神商大	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
甲南大	2	0	0	0	1	0	0	2	×	5

(神商大) 27 1 3
打安失
(甲南大) 32 7 3
バッテリー
(商)荒木一脇谷
(甲)榊原一佐久間

◇10月18日西宮市民球場

甲南大	1	0	0	2	0	0	0	0	0	3
和 大	0	0	0	0	0	0	0	0	4	×

(甲南大) 31 8 1
打安失
(和 大) 29 8 1
バッテリー
(甲)三次・辻本一佐久間
(和)堀田・高橋一磯海

◇10月19日西宮市民球場

和 大	0	0	0	0	0	4	0	0	0	4
甲南大	0	4	0	0	0	2	0	0	×	6

(和 大) 31 7 4
打安失
(甲南大) 33 11 1
▽二塁打中・北川(和)・橋本・梶木・谷口(甲)
バッテリー
(和)堀田・高橋一申
(甲)榊原一佐久間

◇10月22日西宮市民球場

甲南大	1	0	0	0	0	0	2	0	0	3
大経大	1	0	0	0	0	0	0	1	0	2

(甲南大) 34 5 5
打安失
(大経大) 31 4 5
バッテリー
(甲)辻本一佐久間
(商)竹下・高岡一阪部

◇10月25日西宮市民球場

甲南大	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
神外大	0	0	0	0	0	0	1	×	1	×

(甲南大) 30 9 1
打安失
(神外大) 28 6 0
バッテリー
(甲)辻本一佐久間
(外)勢井一吉岡

◇10月26日西宮市民球場

神外大	0	1	0	0	0	0	0	1	0	2
甲南大	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1

(神外大) 31 2 1
打安失
(甲南大) 30 8 6
▽二塁打梶木(甲)
バッテリー
(外)早崎一吉岡
(甲)三次一佐久間

◇10月29日西宮市民球場

甲南大	3	0	1	2	0	0	4	0	0	10
近 大	0	1	0	0	0	0	0	0	1	2

(甲南大) 38 14 2
打安失
(近畿大) 29 2 2
▽二塁打橋本(正)・梶木・辻本・谷口(甲)
バッテリー
(甲)辻本一佐久間
(近)塩崎・石本・三隅一近藤

◇10月30日伊丹市民球場

近 大	0	2	0	0	0	2
甲南大	0	0	0	0	0	0

(近畿大) 20 5 1
打安失
(甲南大) 20 4 1
▽二塁打下泉(近)・谷口(甲)
バッテリー
(近)中尾一近藤
(甲)三次・榊原一佐久間
(降雨の為五回コールドゲーム)

秋季リーグ戦成績表

	近	外	甲	経	和	商	負	試	勝
近	●	2	1	2	2	2	2	10	9
外	0	●	2	1	2	2	2	10	7
甲	1	0	●	2	1	2	2	10	6
経	0	1	0	●	2	2	2	10	5
和	0	0	1	0	●	1	1	10	2
商	0	0	0	0	1	●	1	10	1
負	1	3	4	5	8	9	●		

打撃十傑

	試	打数	安打	打率
1. 佐久間達雄(甲)	9	32	13	0.406
2. 橋本 正昭(甲)	9	30	12	0.400
3. 久次 悦治(経)	9	36	13	0.361
4. 三隅 健(近)	10	32	11	0.347
5. 樽谷 弘(外)	10	34	11	0.324
6. 漆原 徳一(経)	9	31	10	0.323
7. 福山 敬公(経)	9	27	8	0.296
8. 片岡 将(近)	10	35	10	0.286
8. 宮崎 寛(外)	9	35	10	0.286
8. 木村 忠夫(甲)	9	28	8	0.286

[個人成績]

- 最高殊勲選手賞 山口恭生(近大)
- 最優秀投手賞 中尾英二(近大)
- 敢斗賞 早崎 順(外大)
- 首位打者 佐久間達雄(甲南)
- 本塁打賞 藤田修二(外大)

第二回関西準硬式野球大会

熱戦十五回力尽く

◇11月8日

丸物百貨店	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	4
甲南大	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	2	0	3

	[甲南大]	打	安	得	[丸物百貨店]	打	安	得
バッテリー	⑤ 木 村	6	1	0	⑨ 小 柳	7	2	0
(甲)辻本一佐久間	④ 近 江	3	0	0	⑦ 石 田	4	1	1
(丸)奥西一森	4 三 次	1	0	0	⑧ 小 畑	7	0	0
※(延長15回)	PH 高 洲	0	0	0	① 奥 西	5	2	1
	3 玉 水	1	0	0	④5 金 田	5	0	0
	⑥ 橋 本	5	0	1	③4 坂 本	6	3	2
	⑧ 梶 木	5	0	1	⑤ 荒 川	2	0	0
	② 佐久間	5	1	0	PH 田 中	1	0	0
	⑨ 谷 口	5	0	0	3 三 上	4	0	0
	① 辻 本	5	2	0	⑥ 岡 本	6	1	0
	⑦ 榊 原	5	0	1	② 森	3	0	0
	③ 桑 原	3	0	0	計	50	9	4
	PH 城 田	1	0	0				
	4 夕 計	46	4	3				

野球部在籍時代の思い出 (甲球 創部十五周年記念号より)

第四回卒 佐久間 達雄

甲南大学を卒業して丸七年になろうとするが僕が母校野球部に寄せる愛着の情は今も在学時代と少しも変わらない。否寧ろ在学時代よりも一層強い愛情を覚える今日此頃である。僕が甲南大学(野球部)に在籍したのは昭和二十九年四月から三十三年三月迄の四ヶ年である。思い起せば此の四ヶ年間実によく遊び、よく飲み、そしてよく学んだものである。

さて片苦しい話は抜きにして以下僕が入部早々始めて公式試合に出た時の忘れ難い話を一席御披露する事としよう。一年生の春——当時は未だ阪神六大学リーグであった。——の事入部早々の対大阪歯科大学第一回戦の際僕がベンチの外でボール拾いをしていると(当時一年生は試合中場外に出たファールボールを拾いに行っていた)突然キャプテンから呼び出され試合出場を命ぜられた。僕は意外に早く公式戦に出場出来る事をよろこびイソイソとキャッチャーを交代、守備に付いた。処がマスクが無い。先輩キャッチャーに聞くと驚いた事には『マスクが無いから一年生の君に出場して貰うのだ・・・』との事であ

れしさとコワサとが入り混じった気持で何とか怪我もせずに無事大役を果たした事を記憶している。而も其の試合終了後判った事です吾校のマスクは先輩が持って来るのを忘れたため始めは相手チームのを借りて試合をやっていた処それも吾校の攻撃時のファールボールが当たって一部破損したため破損が拡大するのを避ける為に破損後はマスクを借らずにマスク無しでやったと云うのが真相である。今から考へれば若さの元気からとは申せ随分乱暴な試合をやったものだと思います。結局此の試合は確か六対四で吾校の勝に終わったと記憶しているのだがマスクなしでの試合で此の成績なら先ず先ずの戦績と云うべきでしょう。尚僕が公式試合で初めて捕らせてもらったそのピッチャーは現甲球会会長緒方氏であった。僕が一年生で投手が四年生の緒方さんであった為サイン一つ出すのにも随分と気をつかったものである。尚又先輩捕手と云うのは今は亡き名捕手奥田さんである。その後僕は奥田さんに公私共に色々とコーチを受け奥田氏卒業の四年間無事甲南大学の女房役をつとめて来たつもりである。

以上

勤務先—三菱商事(株)神戸支店